

循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会
(第26期・第5回) 議事要旨

1. 日時 2024年10月29日(水) 10:00~12:00

2. 方法 オンライン開催 (Zoom)

3. 出欠 (敬称略)

出席：大塚直、岸本康夫、三枝信子、城山英明、鈴木朋子、森口祐一、野口和彦、橋本禅、
松方正彦、(説明者) 田辺新一、(オブザーバー) 高田保之

欠席：北川尚美、北島薫、辻佳子、土井元章、橋爪真弘、松八重一代

事務局：新田浩史参事官、角田美知子、齊藤美穂、佐藤有純、奥和田上席学術調査員

4. 議論

1) 説明者からの意見聴取

説明者として、早稲田大学建築学科教授の田辺新一氏をお呼びし、資料1に基づき「2030年を超えた建築物のカーボンニュートラル対応」と題して情報提供を頂いた。

2) 第2回委員会の議事要旨確認

森口委員長より、資料2に基づき第4回議事録要旨の確認がなされ承認された。

3) 第4回までの意見に基づく論点整理

森口委員長より、資料3に基づき現時点までの論点・発言の整理案が紹介された。次回以降、本論点整理と資料4の要点案を統合していく方向性が示された。

4) 意思の表出に向けたまとめ方の方向性

野口幹事から、資料4に基づき提言の取り纏め方の案のうち前回との差分の箇所が紹介され、「共生」という言葉の適否、共通利益と相反のバランス、環境と経済のトレードオフ等について議論された。

5) 今後の進め方 (参考人意見聴取、日本学術会議内の連携、行事開催等)

① 参考人意見聴取

森口委員長から、資料5-1に基づき、次回(11/27)は参考人からの意見聴取は計画なし、次々回(12/19)に東大先端研所長の杉山正和所長から話題提供頂く予定であることが説明された。

② 日本学術会議内の連携

森口委員長から、資料5-1に基づき、11/1に総合工学委員会のエネルギーと科学技術に関する分科会と役員間での情報交換を設定済み、年末年始を目途に第25期カーボンニュートラル連絡会との意見交換の場を設定希望であることが説明された。

③ 公開行事

森口委員長から、資料 6-1、6-2 に基づき、環境学委員会主催のプラネタリーヘルスに関する公開シンポジウム（11/9 開催予定）、材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同主催の資源の循環利用に関する学術フォーラム（11/22 開催予定）が紹介された。

④ 意思の表出に関するスケジュール

森口委員長より、資料 5-2 に基づき、「提言」を想定した場合、(4)①に則り年末年始には骨子案が出来ている必要がある旨が説明された。具体的な日程感は事務局と相談し次回委員会にて説明予定。

⑤ 学術フォーラム企画

森口委員長より、資料 5-3 に基づき、学術フォーラムの企画案について説明された。開催日程は 3 月 8 日、12 日、18 日が有力候補であり、東大・高村ゆかり教授、環境省・秦康之総合環境政策統括官に打診済み。

5. 資料

資料 1：田辺先生話題提供資料

資料 2：第 26 期循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する 検討委員会第 4 回議事要旨

資料 3：第 4 回委員会までの委員からの意見等に基づく論点整理

資料 4：委員会の要点案(野口幹事作成の更新版)

資料 5－1：委員会の今後の進め方

資料 5－2：日本学術会議における意思の表出の作成手続きの概要（第 26 期第 4 回第三部会資料から資料 3-2, 3-3 抜粋）

資料 5－3：学術フォーラム企画草案

参考資料 1 環境学委員会主管の分科会の公開シンポジウムポスター

参考資料 2 材料工学委員会主管の分科会の学術フォーラムポスター

以上